

## (別紙) 平成 29 年度「第 8 回創作舞踊大賞」課題作品

### ①若衆踊A ※小道具として、杖・笠を使用して下さい。

【揚口説】 実や都の春の空 いつる日影も長閑にて 咲くや桜に梅の花  
色と匂ひに誘はれて 老いも若きも諸共に 袖を引き連れ立出て  
花の色々加籠に入 ここやかしこに行き廻り 長き春日のくるるまで  
帰る家路をうち忘れ 花をかざして舞ひ遊ぶ 春の景色は面白や

【高離節】 沈や伽羅とぼす お座敷に出ちて 踊る我が袖の 匂のしほらしや  
(もしくは次の歌詞を歌う)  
笠に音立てて 降たる夏雨も 今やうち晴て 太陽と照ゆる

### ②若衆踊B ※小道具として、扇子・笠を使用して下さい。

【古見の浦節】 古見の浦の八重岳 八重かさび美与底  
桜花ぶなれま 梅香ばしや女童  
袖振らば里之子 沈伽羅匂ひす

【松本節】 獅子やまりつれて 躍り跳ね遊ぶ わぬやどしつれて 遊ぶうれしや

### ③女踊A ※小道具として、糸巻を使用して下さい。

【伊計離節】 里があかいづ羽 御衣すらんともて 今日よかる日に 総よ掛ら  
【あかさ節】 深山くぶだいなす 総懸ておきゆい わぬ女なとて 油断しやべめ  
【百名節】 総も掛みちて でかよ立ち戻ら 里や我が宿に 待ちゆらだいもの

### ④女踊B ※小道具として、四つ竹を使用して下さい。

【宇地泊節】 打ち鳴らし鳴らし 四つ竹は鳴らち 今日や御座出て 遊ぶ嬉しや  
【宇地泊節】 鳴らす四つ竹の 音にまぎれてど おやぐめさあても 御側よたる

### ⑤女踊C ※手踊り

【中城はんた前節】 でかやう押し連れて 眺めやり遊ば 今日や名に立ちゆる 十五夜だいもの  
【瓦屋節】 押す風も今日や 心あてさらめ 雲はれて照らす 月のきよらさ  
【さあさあ節】 月も眺めたい でかやう立ち戻ら 里や我が宿に 待ちゆらだいもの

### ⑥二歳踊A ※小道具として、杖、笠を使用して下さい。

【与那節】 与那の高ひらや 汗はてど登る 無蔵と二人なれば 車とふばる  
【湊くり節】 笠に音立てて 降たる夏ぐれも 今や打ち晴れて でだど照ゆる

### ⑦二歳踊B ※小道具として、両扇子を使用して下さい。

【目出度節】 一、松は千歳の 齢ひをたもち 老て若やく ことの嬉しや  
二、庭の呉竹 ふしぶしごとに 君が万代の 祝ひこめて  
三、軒端の梅や 初春ことに 花も匂ひも 増るなり  
※または次の歌詞三節を歌う。  
一、けふの座敷は 祝ひの座敷 亀が歌へば 鶴や舞ふる  
二、鶴と亀との 千年の齢ひを 君に捧て うたへ雪降る  
三、黒髪雪の 積もる年までも 石の身のごと あらち給ふれ